



事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(都道府県名:栃木県)

市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況					成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	
					計画時(平成18年)	1年後(平成19年)	2年後(平成20年)	3年後(平成21年)	目標値(平成21年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費				その他
一	栃木県	土地利用型作物(麦)	需要に応じた生産量の確保・優良種子の確保	【土地利用型作物】主要農産物種子の生産量を5%以上増加	水稲種子・麦種子(原種・原原種生産量)1,543kg	1,543kg	2,921kg	4,130kg	4,394kg	90.7%	水稲及び麦の原種・原原種生産量が2,587kg増加した。	種子生産用コンバイン1台	1,837,500	612,000	1,225,500	0	0	H20.3.28	当事業を実施した結果、米では新規需要米として増産が求められる「あさひの夢」、麦ではパン用小麦新品種「ゆめかおり」及び農林61号代替の「さとのそら」、加えて、炊飯後燻変しにくい食用二条大麦「とちのいぶき」の新規導入、作付転換に必要な優良原原種及び原種を確保し、栃木県の土地利用型作物の生産体制の強化を図ることができた。	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる
塩谷町	塩野谷農業協同組合	土地利用型作物(水稲)	品質向上	【土地利用型作物】(省力・低コスト産地育成)品質分析の実施	84.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	共同乾燥調製施設利用者延べ154戸品質分析143戸の実績 麦11戸を一括品質分析	共同乾燥調製施設建物、プラント一式	232,544,550	99,442,000	0	10,000,000	123,102,500	H20.9.5	施設利用者全員の米の品質分析を実施し、得られたデータを活用して高品質に向けた生産技術の向上に結びつけることとしたが、施設利用者は延べ154名で目標の57%であった。今後更なる利用者の確保、利用者全員の品質分析を進める。	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる
大田原市、那須塩原市、那須町	那須野農業協同組合	土地利用型作物(水稲)	品質向上	【土地利用型作物】品質分析の実施生産者(又は受益面積)の割合が50%以上	82.5%	88.8%	100.0%	92.0%	184.2%	平成21年では受益農家戸数の減少と分析点数の増加により分析実施比率が増加した	品質向上物流合理化施設一式	559,369,999	166,998,000	0	0	392,371,999	H20.8.29	受益農家数が計画時よりも減少したため、品質分析の生産者割合は増加した。物流合理化効果も、ばら出荷率が向上したため増加した。	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる	
塩谷町・矢板市	塩野谷農協	花き(スプレーぎく)	生産性向上	【花き】(燃油使用量の低減)燃油使用量を10%以上低減	15,000%/10a	15,000%/10a	9,420%/10a	9,209%/10a	13,500%/10a	386.1%	燃油使用量を5791%/10a(38.6%)削減できた	循環扇(100台) 4段式サーモ装置(13台) 内張材(4棟)	22,575,000	10,750,000	0	0	11,825,000	H20.3.31	変温管理、施設内温度のムラを少なくすることができ、燃油使用量の削減ができた	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(都道府県名:栃木県)

市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価
					計画時 (平成18年)	1年後 (平成19年)	2年後 (平成20年)	3年後 (平成21年)	目標値 (平成21年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
宇都宮市	宇都宮農業協同組合	稲・麦	品質向上	水稲品質分析の実施	米の品質分析実施生産者の割合72%	93.0%	95.0%	100.0%	100.0%	100.0%	米の品質分析実施者の割合が100%となった	米荷受施設増強、色彩選別機の導入	186,616,500	80,420,000	0	35,546,000	70,650,500	H20.8.20	カメムシ被害が多い当地域では、21年産についても晩成種に着色粒が散見されたが、色彩選別機により1等比率100%、その他の品種でも同様の効果を示した。	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる
宇都宮市 上三川町	宇都宮施設園芸振興会	野菜(トマト)	生産性向上	【野菜】(低コスト化) 施設園芸(トマト)における燃油使用量を15%低減	6,648 <sup>100</sup> / <sub>10a</sub>	6,217 <sup>94</sup> / <sub>10a</sub>	5,250 <sup>78</sup> / <sub>10a</sub>	4,908 <sup>73</sup> / <sub>10a</sub>	5,651 <sup>84</sup> / <sub>10a</sub>	174.5%	トマト加温栽培の燃油使用量が計画時対比26.1%削減できた	循環扇64台 多段サモ(4段サモ)28台	9,404,873	4,702,000	0	0	4,702,873	H20.3.30	21年度は異常低温及び曇天が続いたにも関わらず、省エネ効果が見られた	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる
宇都宮市 下野市 上三川町	宇都宮施設園芸振興会	野菜(きゅうり)	生産性向上	【野菜】(低コスト化) 施設園芸(きゅうり)における燃油使用量を15%低減	7,022 <sup>100</sup> / <sub>10a</sub>	7,279 <sup>103</sup> / <sub>10a</sub>	6,183 <sup>87</sup> / <sub>10a</sub>	6,290 <sup>89</sup> / <sub>10a</sub>	5,969 <sup>85</sup> / <sub>10a</sub>	69.5%	きゅうり加温栽培の燃油使用量が計画時対比10.4%削減できた	循環扇123台 多段サモ(4段サモ)7台	7,209,310	3,604,000	0	0	3,605,310	H20.3.30	21年度は異常低温及び曇天が続いたにも関わらず、省エネ効果が見られた	当該事業実施主体は、目標を達成しなかったが、異常低温及び曇天の影響により燃油使用量の削減効果が見られたためであり、事業成果は充分得られたと評価できる。
日光市	沢又機械振興組合	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	田植機における燃油の使用量を10%以上削減	0.66 <sup>100</sup> / <sub>10a</sub>	0.66 <sup>100</sup> / <sub>10a</sub>	0.56 <sup>84</sup> / <sub>10a</sub>	0.54 <sup>81</sup> / <sub>10a</sub>	0.56 <sup>84</sup> / <sub>10a</sub>	120.0%	10a当たりの燃油の使用量が18%削減された	高速田植機(6条植・1台)	1,980,000	660,000	0	0	1,320,000	H20.3.17	省エネ農機への更新及び省エネ利用マニュアル等の完全実施により燃油使用量及び光熱動力費の低減が図られ、目標とする集落営農へ向けての共同化についても前進が図られた	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる
				乾燥機における燃油の使用量を10%以上削減	19.20 <sup>100</sup> / <sub>t</sub>	19.20 <sup>100</sup> / <sub>t</sub>	16.32 <sup>85</sup> / <sub>t</sub>	15.74 <sup>81</sup> / <sub>t</sub>	16.32 <sup>85</sup> / <sub>t</sub>	120.0%	10a当たりの燃油の使用量が18%削減された	穀物遠赤外線乾燥機(50石・1台)								
日光市	芹沼地区グリーンファームシステム	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	田植機における燃油の使用量を10%以上削減	0.61 <sup>100</sup> / <sub>10a</sub>	0.61 <sup>100</sup> / <sub>10a</sub>	0.42 <sup>69</sup> / <sub>10a</sub>	0.42 <sup>69</sup> / <sub>10a</sub>	0.52 <sup>85</sup> / <sub>10a</sub>	211.1%	10a当たりの燃油の使用量が31%削減された	高速田植機(8条植・1台)	2,690,000	896,000	0	0	1,794,000	H20.3.17	当該事業の導入により計画以上の省エネが促進され、より作業効率が図られ、経費の削減効果が現れた。その結果農作業の環境改善及び地域の実態に即した当組合の組織強化が図られたが、作付面積の拡大には到らず、次年度の課題となった。	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる
		土地利用型作物(水稲・大豆)	生産性向上	乾燥機における燃油の使用量を10%以上削減	18.50 <sup>100</sup> / <sub>t</sub>	18.50 <sup>100</sup> / <sub>t</sub>	14.80 <sup>80</sup> / <sub>t</sub>	14.80 <sup>80</sup> / <sub>t</sub>	16.09 <sup>92</sup> / <sub>t</sub>	153.5%	10a当たりの燃油の使用量が20%削減された	穀物遠赤外線乾燥機(50石・1台)								

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(都道府県名:栃木県)

市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価
					計画時 (平成18年)	1年後 (平成19年)	2年後 (平成20年)	3年後 (平成21年)	目標値 (平成21年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
芳賀町	西高橋南部農用地利用組合	土地利用型作物 (稲・麦・大豆)	生産性向上	乾燥機における燃油の使用量を10%以上削減	23.5%	23.5%	18.7%	18.6%	19.5%	122.5%	1t当たり燃料使用量が20.9%削減された	遠赤外線乾燥機45石1台、40石1台、35石2台	7,310,000	3,480,000	0	0	3,830,000	H20.3.10	当該事業の導入により、効率的な乾燥と高速での田植が可能となり、燃油の削減や作業時間の短縮ができ、低コスト生産につながっている	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる
		土地利用型作物 (稲)	生産性向上	田植機における燃油の使用量を10%以上削減	0.91%	0.91%	0.82%	0.75%	0.75%	100%	10a当たり燃油使用量が17.6%削減された	高速田植機6条2台	3,800,000	1,206,000	0	0	2,594,000	H20.3.10		
芳賀町	なかさと営農業団	土地利用型作物 (米・麦・大豆)	生産性向上	乾燥機における燃油の使用量を10%以上削減	28.6%	28.6%	26.0%	19.0%	25.5%	309.7%	1t当たり燃料使用量が33.6%削減された	遠赤外線乾燥機60石2台	4,116,000	1,960,000	0	0	2,156,000	H20.3.7	乾燥機の導入により、効率的な乾燥が可能になり、燃油の削減や作業時間の短縮ができ、低コスト生産につながっている	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる
芳賀町	芳根	土地利用型作物 (米・麦・大豆)	生産性向上	乾燥機における燃油の使用量を10%以上削減	25.7%	25.7%	23.1%	16.4%	23.1%	357.7%	1t当たり燃油使用量が36.2%削減	遠赤外線乾燥機45石1台(米・麦)、45石1台(米・麦・大豆)	3,727,500	1,775,000	0	0	1,952,500	H20.3.7	乾燥機の導入により、効率的な乾燥が可能になり、燃油の削減や作業時間の短縮ができ、低コスト生産につながっている	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる
芳賀町	芳賀クローバーク営農組合	土地利用型作物 (米・麦・大豆)	生産性向上	乾燥機における燃油の使用量を10%以上削減	20.4%	20.4%	17.7%	18.6%	17.7%	66.7%	1t当たり燃油使用量が8.8%削減された	遠赤外線乾燥機40石3台	5,071,500	2,415,000	0	0	2,656,500	H20.3.7	乾燥機の導入により、効率的な乾燥が可能になり、燃油の削減や作業時間の短縮ができ、低コスト生産につながっている	当該事業主体は、燃油削減の目標には達しなかったものの、省エネマニュアルの実践により、計画時より燃油使用量が削減されていることは評価できる
小山市	延島上集落営農組合	土地利用型作物 (米、麦、そば)	生産性向上	【土地利用型作物】乾燥における燃油の使用量を10%以上低減	18.51%	18.51%	17.58%	14.36%	16.66%	224.3%	1t当たり燃油使用量が22.4%削減された	・穀物遠赤外線乾燥機(70石)5基	17,573,107	8,045,000	0	0	9,528,107	H20.3.13	省エネ農機への更新により燃油使用量の低減が可能になった。また、乾燥機の容量も増やしたため、処理能力が増え、適期刈取が期待できる	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる
都賀町	深沢営農組合	土地利用型作物 (稲・麦)	生産性向上	【土地利用型作物】乾燥機及びコンバインにおける燃油の使用量を10%以上削減	稲	19.84%	21.14%	13.81%	15.76%	151.4%	1t当たり燃油使用量が22.0%削減された	穀物遠赤外線乾燥機(50石)4基	10,923,150	4,873,000	0	0	6,050,150	H20.3.18	乾燥機の燃油使用量は、米で22%、麦で10%削減された。コンバインの燃油使用量は15%削減された。	麦の乾燥、収量コンバインの使用については、燃油削減目標には達しなかったが、省エネマニュアル等の実践により、着実に燃油使用量を削減していることは評価できる。
					麦	8.34%	25.38%	13.14%	13.05%		1t当たり燃油使用量が10.4%削減された									
					2.2%	2.2%	3.58%	1.87%	1.8%	82.5%	燃油使用量が15%削減された	収量コンバイン(6条)1台	14,332,500	4,777,000	0	0	9,555,500			

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(都道府県名:栃木県)

市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価
					計画時 (平成18年)	1年後 (平成19年)	2年後 (平成20年)	3年後 (平成21年)	目標値 (平成21年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
下野市	明賢宮農集団	土地利用型作物(稲)	生産性向上	【土地利用型作物】当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を10%以上低減	14% <sub>±</sub> /t	14% <sub>±</sub> /t	12.25% <sub>±</sub> /t	12.25% <sub>±</sub> /t	12% <sub>±</sub> /t	87.5%	燃油使用量が12.5%削減された	穀物遠赤外線乾燥機(30石)1基	1,522,500	761,000	0	0	761,500	H20.3.19	燃油使用量が12.5%減少し、効果が確認された。	燃油削減目標には達しなかったが、省エネマニュアル等の実践により、着実に燃油使用量を削減していることは評価できる。
野木町	友沼集落営農組合	土地利用型作物(稲)	生産性向上	【土地利用型作物】田植機における燃油の使用量を10%以上削減	0.95% <sub>±</sub> /10a	0.95% <sub>±</sub> /10a	0.85% <sub>±</sub> /10a	0.85% <sub>±</sub> /10a	0.85% <sub>±</sub> /10a	100.0%	燃油使用量が10.5%削減された	高速田植機(6条)1台	1,953,000	651,000	0	195,000	1,107,000	H20.3.18	事業の導入により燃油使用量の低減が図られた。また、機械の共同利用により作付面積の拡大を図ることができた。	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる
矢板市	下太田西宮農集団	土地利用型作物(米・大豆)	生産性向上	乾燥機における燃油の使用量を10%以上削減	10.9% <sub>±</sub> /t	10.9% <sub>±</sub> /t	17.9% <sub>±</sub> /t	19.2% <sub>±</sub> /t	9.4% <sub>±</sub> /t	-553.3%	省エネマニュアルの実践	遠赤外線乾燥機30石2台	3,570,000	1,785,000	0	0	1,785,000	H20.3.31	農業経営の安定と省力化を目指して、組合員全員で省エネマニュアルの実践を行っている。目標の達成には組合員の意識改革も必要であるが今後も努力したい。	省エネマニュアルを実践したが、刈取時に天候が悪く、高水分乾燥をしたため、燃油削減効果がなかった。今後は、稲の品種構成の最適化等により作期分散をし、収穫時期に余裕がある。
矢板市	下太田枇杷ヶ原	土地利用型作物(米・大豆)	生産性向上	乾燥機における燃油の使用量を10%以上削減	10.9% <sub>±</sub> /t	10.9% <sub>±</sub> /t	15.4% <sub>±</sub> /t	21.1% <sub>±</sub> /t	9.6% <sub>±</sub> /t	-784.6%	省エネマニュアルの実践	遠赤外線乾燥機65石1台	2,640,777	1,273,000	0	0	1,367,777	H20.3.31	農業経営の省エネルギー化に向けて組合員全員で努力している。	省エネマニュアルを実践したが、刈取時に天候が悪く、高水分乾燥をしたため、燃油削減効果がなかった。今後は、稲の品種構成の最適化等により作期分散をし、収穫時期に余裕がある。
矢板市	城下町営農集団	土地利用型作物(米・大豆)	生産性向上	乾燥機における燃油の使用量を10%以上削減	10.9% <sub>±</sub> /t	10.9% <sub>±</sub> /t	14.9% <sub>±</sub> /t	10.1% <sub>±</sub> /t	9.6% <sub>±</sub> /t	61.5%	燃油使用量が7.3%削減された	遠赤外線乾燥機45石1台50石1台	4,707,150	2,353,000	0	0	2,354,150	H20.3.31	省エネルギー化の推進に向け、マニュアルの完全実施を心がけている。目標達成に向け今後も営農活動を通して改善項目を認識し努力していく。	当該事業主体は、燃油削減の目標には達しなかったものの、省エネマニュアルの実践により、計画時より燃油使用量が削減されていることは評価できる
矢板市	土屋乾燥機利用組合	土地利用型作物(米)	生産性向上	乾燥機における燃油の使用量を10%以上削減	10.9% <sub>±</sub> /t	10.9% <sub>±</sub> /t	8.2% <sub>±</sub> /t	8.2% <sub>±</sub> /t	9.8% <sub>±</sub> /t	245.5%	燃油使用量が24.8%削減された	遠赤外線乾燥機53石1台	1,722,000	861,000	0	0	861,000	H20.3.31	省エネマニュアルに従い、乾燥機の省エネ推進を心がけている。	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(都道府県名:栃木県)

市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価
					計画時 (平成18年)	1年後 (平成19年)	2年後 (平成20年)	3年後 (平成21年)	目標値 (平成21年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
矢板市	土屋稲作組合	土地利用型作物(米)	生産性向上	田植機における燃料の使用量10%以上削減	0.85% /10a	0.85% /10a	1.1% /10a	0.85% /10a	0.76% /10a	0.0%	燃油使用量の低減に到らなかった	高速田植機 6条 1台	2,350,000	783,000	0	0	1,567,000	H20.3.31	省エネマニュアルを実践し、農機具を使用したのが目標には達しなかった。今後は目標達成のため組合員全員で意識を高め努力していく。	省エネマニュアルを実践したが、分散錯圃や不整形田が多いため燃油削減効果があがらなかった。今後は、圃場整備等の事業を推進し、作業の効率化を図る必要がある。
矢板市	内川南部広域営農集団	土地利用型作物(米・麦・大豆・そば)	生産性向上	コンバインにおける燃料の使用量10%以上削減	2.5% /10a	2.5% /10a	2.3% /10a	2.0% /10a	2.15% /10a	142.9%	燃油使用量が20%削減された	普通型コンバイン 2台	19,739,840	6,579,000	0	0	13,160,840	H20.3.31	省エネマニュアルの実践等、組合員各々が省エネルギー化の推進に向けて努力している。	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる
矢板市	ともなりそば組合	土地利用型作物(大豆・そば)	生産性向上	コンバインにおける燃料の使用量10%以上削減	2.5% /10a	2.5% /10a	2.4% /10a	2.4% /10a	2.18% /10a	31.3%	燃油使用量が4.0%削減された	普通型コンバイン 1台	9,869,920	3,289,000	0	0	6,580,920	H20.3.31	省エネマニュアルを実践し、燃油削減目標に向け、省力化の努力をしている。	刈取時に水分が多く、燃油削減目標値までには到らなかったが、省エネマニュアルの実践等により計画時より燃油使用量が削減されていることは評価できる。
				乾燥機における燃料の使用量10%以上削減	10.9% /t	10.9% /t	10.3% /t	10.3% /t	9.0% /t	31.6%	燃油使用量が5.5%削減された	遠赤外線乾燥機 40石 1台	2,171,400	1,085,000	0	0	1,086,400	H20.3.31		
矢板市	幸岡営農改善組合	土地利用型作物(米)	生産性向上	田植機における燃料の使用量10%以上削減	0.64% /10a	0.64% /10a	0.7% /10a	0.7% /10a	0.57% /10a	-85.7%	燃油使用量の低減に到らなかった	高速田植機 8条 1台	3,100,000	1,033,000	0	0	2,067,000	H20.3.31	燃油削減目標には到らなかったが、省エネマニュアルに基づき、継続的に営農活動の改善を図っている。	刈取時に水分が多く、燃油削減には到らなかった。今後は、稲の品種構成の適正化による収穫期の分散や、送風乾燥を行う等の対策を指導する必要がある。
		土地利用型作物(米・大豆・そば)	生産性向上	乾燥機における燃料の使用量10%以上削減	10.9% /t	10.9% /t	13.7% /t	11.1% /t	9.7% /t	-16.7%	燃油使用量の低減に到らなかった	遠赤外線乾燥機 40石 1台 50石 2台	7,001,400	3,500,000	0	0	3,501,400	H20.3.31		
高根沢町	台新田稲作組合	土地利用型作物(稲)	生産性向上	田植機における燃油使用量を10%以上削減	0.85% /10a	0.85% /10a	0.62% /10a	1.33% /10a	0.76% /10a	-533.3%	燃油使用量の低減に到らなかった	高速型田植機 6条植 1台	1,680,000	560,000	0	0	1,120,000	H20.2.26	事業対象作物の栽培面積が3.2%増加した。今後は、圃場整備等の事業を推進し、作業の効率化を図る必要がある。	田植機に関しては、分散錯圃や不整形田が多いため燃油削減効果があがらなかった。今後は、圃場整備等の事業を推進し、作業の効率化を図る必要がある。
				乾燥機における燃油使用量を10%以上削減	11.7% /t	11.7% /t	2.85% /t	4.04% /t	10.2% /t	510.7%	燃油使用量が65.5%低減した	穀物遠赤外線乾燥機 35石 1台 45石 1台	3,273,000	1,636,000	0	0	1,637,000	H20.3.6		

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(都道府県名:栃木県)

市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価
					計画時 (平成18年)	1年後 (平成19年)	2年後 (平成20年)	3年後 (平成21年)	目標値 (平成21年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
高根沢町	中郷東稲作組合	土地利用型作物(稲)	生産性向上	乾燥機における燃料の使用量を10%以上削減	11.7% /t	11.7% /t	14.0% /t	12.9% /t	10.2% /t	-80.0%	燃料使用量の低減に到らなかった	穀物遠赤外線乾燥機 50石 1台	1,700,000	850,000	0	0	850,000	H20.3.11	省エネ農機を導入したが、燃油使用量が削減できなかった。	省エネマニュアルを实践したが、刈取時に天候が悪く、高水分乾燥をしたため、燃油削減効果があがらなかった。今後は、稲の品種構成の最適化等により作期分散をし、収穫時期に余裕を持たせる指導が必要である。
高根沢町	飯室稲作組合	土地利用型作物(稲)	生産性向上	乾燥機における燃料の使用量を10%以上削減	11.7% /t	11.7% /t	13.9% /t	16.0% /t	9.7% /t	-215.0%	燃料使用量の低減に到らなかった	穀物遠赤外線乾燥機 35石 2台	3,150,000	1,575,000	0	0	1,575,000	H20.2.28	省エネ農機を導入したが、燃油使用量が削減できなかった。受益地の水稲の栽培面積が増加した。	省エネマニュアルを实践したが、刈取時に天候が悪く、高水分乾燥をしたため、燃油削減効果があがらなかった。今後は、稲の品種構成の最適化等により作期分散をし、収穫時期に余裕を持たせる指導が必要である。
高根沢町	飯室地区協業組合	土地利用型作物(稲)	生産性向上	田植機における燃料の使用量を10%以上低減	0.85% /10a	0.85% /10a	0.80% /10a	0.80% /10a	0.76% /10a	55.6%	燃料使用量が5.9%低減した	高速田植機 6条 1台	2,076,000	692,000	0	0	1,384,000	H20.3.10	省エネ農機の更新により、燃油使用量が低減でき、燃料価格の安定により光熱動力費は26%削減と計画以上の効果があった。	当該事業主体は、燃油削減の目標には達しなかったものの、省エネマニュアルの实践により、計画時より燃油使用量が削減されていることは評価できる
那須塩原市	豊浦乾燥機利用組合	土地利用型作物(稲)	生産性向上	乾燥機における燃料の使用量を10%以上削減	17.01% /t	17.01% /t	16.10% /t	14.90% /t	13.16% /t	54.8%	省エネ機械の導入により燃油使用量を12.4%削減した	穀物遠赤外線乾燥機 50石 1台	2,394,000	1,123,000	0	0	1,271,000	H20.3.19	省エネ農機の導入と省エネマニュアルの实践により、燃油使用量を12.4%低減できた。	当該事業主体は、燃油削減の目標には達しなかったものの、省エネマニュアルの实践により、計画時より燃油使用量が削減されていることは評価できる
那須塩原市	サングリーン那須	土地利用型作物(稲)	生産性向上	田植機における燃油使用量を10%以上削減	0.8% /10a	0.8% /10a	0.67% /10a	0.71% /10a	0.65% /10a	60.0%	省エネ機械の導入により燃油使用量を11.25%削減した	ディーゼル田植機 8条植 1台	3,024,000	1,008,000	0	0	2,016,000	H20.3.25	省エネ農機の導入と省エネマニュアルの实践により、燃油使用量を11.25%低減できた。	当該事業主体は、燃油削減の目標には達しなかったものの、省エネマニュアルの实践により、計画時より燃油使用量が削減されていることは評価できる

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(都道府県名:栃木県)

市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況					達成率	成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価
					計画時 (平成18年)	1年後 (平成19年)	2年後 (平成20年)	3年後 (平成21年)	目標値 (平成21年)					交付金	都道府県費	市町村費	その他			
那須塩原市	北和田宮農組合	土地利用型作物(稲)	生産性向上	乾燥機における燃油使用量を10%以上削減	13.96% /t	13.96% /t	15.04% /t	14.16% /t	11.15% /t	-7.1%	燃油使用量を削減することができなかった。	穀物遠赤外線乾燥機 55石 4台	9,198,000	4,354,000	0	0	4,844,000	H20.3.25	省エネ農機の導入と省エネマニュアルの実践により、燃油使用量が削減されることを期待したが、収穫作業や天候の関係から高水分での収穫をしなければならず、効率の良い燃油消費量が図られなかった。	刈取時に天候が悪く、高水分乾燥をしたため、燃油削減効果があがらなかった。今後は、省エネマニュアルの更なる徹底や計画的な刈取等により燃油使用量削減を進める必要がある。
那須塩原市	遅沢地区機械利用組合	土地利用型作物(稲)	生産性向上	田植機における燃油使用量を10%以上削減	1.2% /10a	1.2% /10a	0.83% /10a	0.52% /10a	0.48% /10a	94.4%	省エネ機械の導入により燃油使用量を約56.7%削減した	ディーゼル田植機 8条植 1台	3,339,000	1,113,000	0	0	2,226,000	H20.3.26	省エネ農機の導入と省エネマニュアルの実践により、燃油使用量を56.7%低減できた。	当該事業主体は、燃油削減の目標には達しなかったものの、省エネマニュアルの実践等により、計画時より燃油使用量が削減されていることは評価できる
那須塩原市	一区麦作生産組合	土地利用型作物(稲)	生産性向上	乾燥機における燃油使用量を10%以上削減	14.7% /t	14.7% /t	21.14% /t	13.82% /t	11.29% /t	25.8%	省エネ機械の導入により燃油使用量を6.0%削減することができた	穀物遠赤外線乾燥機 80石 3台	18,007,500	8,478,000	0	0	9,529,500	H20.3.26	省エネ農機の導入と省エネマニュアルの実践により、燃油使用量を削減することはできたが、収穫作業や天候の関係から少量運転を余儀なくされ目標値までの削減が図られなかった。	当該事業主体は、燃油削減の目標には達しなかったものの、省エネマニュアルの実践等により、計画時より燃油使用量が削減されていることは評価できる
那須塩原市	上大貫生産集団	土地利用型作物(稲)	産地競争力の強化	乾燥機における燃油使用量を10%以上削減	14.27% /t	14.27% /t	12.17% /t	15.34% /t	11.9% /t	-45.1%	燃油使用量を削減することができなかった。	穀物遠赤外線乾燥機 45石 5台	16,012,500	7,489,000	0	0	8,523,500	H20.3.24	省エネ農機の導入と省エネマニュアルの実践により、燃油使用量が削減されることを期待したが、生育期の天候不順のため未熟米が多く、乾燥機の燃油使用量が増えたことで、目標とする削減率まで到達できなかった。	刈取時に天候が悪く、高水分乾燥をしたため、燃油削減効果があがらなかった。今後は、省エネマニュアルの更なる徹底や計画的な刈取等により燃油使用量削減を進める必要がある。
那須烏山市	神長川西生産組合	土地利用型作物(稲)	生産性向上	当該農業機械等利用に係わる燃油の使用量を10%以上削減	17.0% /t	17.0% /t	15.8% /t	14.4% /t	14.3% /t	96.3%	燃油使用量が15.3%削減された	遠赤外線乾燥機 40石 1台	1,575,000	787,000	0	0	788,000	H20.3.18	省エネ農機の共同利用により燃油使用量を15.3%削減できた。今後の課題として刈取時期が厳しく制限される水稲種子の乾燥があげられる。	当該事業主体は、燃油削減の目標には達しなかったものの、省エネマニュアルの実践等により、計画時より燃油使用量が削減されていることは評価できる
那須烏山市	興野水稲協同利用組合	土地利用型作物(稲、麦、そば)	生産性向上	当該農業機械等利用に係わる燃油の使用量を10%以上削減	13.9% /t	13.9% /t	13.7% /t	13.7% /t	11.6% /t	8.7%	燃油使用量が1.4%削減された	遠赤外線乾燥機 40石 4台	6,432,160	3,157,000	0	0	3,275,160	H20.3.11	省エネ農機の共同利用により燃油使用量を1.4%削減できた。今後の課題として刈取時期が厳しく制限される水稲種子の乾燥があげられる。	省エネマニュアルを実践したが、刈取時に天候が悪く、高水分乾燥をしたため、燃油削減効果があがらなかった。

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(都道府県名:栃木県)

市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価
					計画時 (平成18年)	1年後 (平成19年)	2年後 (平成20年)	3年後 (平成21年)	目標値 (平成21年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
那須烏山市	荒川南部 富農生産 組合	土地利用 型作物 (稲、大豆)	生産性向上	当該農業機械等利用に係わる燃油の使用量を10%以上削減	26.6% /t	26.6% /t	26.5% /t	21.9% /t	22.3% /t	109.3%	燃油使用量が17.7%削減された	遠赤外線乾燥機 40石 1台	1,720,000	860,000	0	0	860,000	H20.3.6	省エネ農機の共同利用により燃油使用量を17.7%削減できた。今後の課題として湿田生産による大豆の乾燥があげられる。	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる
那須烏山市	熊田生産 組合	土地利用 型作物 (稲)	生産性向上	当該農業機械等利用に係わる燃油の使用量を10%以上削減	21.4% /t	21.4% /t	19.9% /t	19.7% /t	18.1% /t	51.5%	燃油使用量が7.9%削減された	遠赤外線乾燥機 30石 1台	1,344,000	672,000	0	0	672,000	H20.3.4	省エネ農機の共同利用により燃油使用量を7.9%削減できた。刈取時期が集中してしまい、朝露がとれない時間帯での刈取の実施がみられた。今後は田植期を調整し、収穫期の分散をより進める。	当該事業主体は、燃油削減の目標には達しなかったものの、省エネマニュアルの実践等により、計画時より燃油使用量が削減されていることは評価できる
足利市	稲岡グ リーン ファーム	土地利用 型作物 (稲、 麦)	生産性向上	当該農業機械利用に係わる燃油の使用量を10%以上低減	稲 40.7% /t	40.7% /t	24.9% /t	22.5% /t (16t)	34.8% /t	607.7%	遠赤外線汎用乾燥機の導入により作業効率が図られ、燃油消費量10%以上低減させることができた	遠赤外線汎用乾燥機蔵施設 25石 1台 35石 1台	2,882,250	1,441,000	0	0	1,441,250	H20.2.28	省エネ農機の共同利用により目標値以上の燃油使用量を削減できた。また、遊休農地の解消のため廃業者の農地を借受し面積の拡大を図った。	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる
麦 39.8% /t	39.8% /t	17.9% /t	10.7% /t (40t)	35.8% /t																
壬生町	下野農業 協同組合	輸入急増 野菜 (トマト)	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	事業実施地区におけるトマトの契約取引の推進	6.40%	12.00%	15.00%	32.00%	31.00%	104.1%	契約取引が17.0%増加した	生産技術高度化施設	250,173,000	119,130,000	0	19,060,000	111,983,000	H20.3.18	平成21年度は、本事業で整備した施設を活用しての品質向上と周年出荷体制の整備により、契約取引数量は140tから396tに増加した。	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる
さくら市	さくら市	地産地消	需要に応じた生産量の確保	【地産地消】所在する都道府県内に向けた出荷額の確保	さくら市内の農産物直売所販売額422百万円	515百万円	598百万円	638百万円	507百万円	254.1%	加工施設の整備を契機に、地産地消の取組がより一層推進され、さくら市の農産物直売所全体216万円増加した	農産物処理加工施設(木造平屋) 1棟	130,651,500	65,000,000	0	65,651,500	0	H20.4.23	さくら市では既存の農産物直売所を核として地産地消を推進しているが、整備した加工施設との連携により、一層取組が推進され、相乗効果で農産物販売額の増加が見込める。	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる
宇都宮市	コントラ 河内	飼料作物 (稲わら)	生産性向上	【耕種作物活用型飼料増産】受益面積を1%以上増加	68.8ha	70.0ha	77.59ha	90.82ha	100ha	70.6%	稲わら収集面積が32.0%(22.02ha)増加した	ロールベ ラー2台	6,450,000	2,150,000	0	0	4,300,000	H19.12.3	稲わら収集機械の導入により、作業効率の改善や品質の良い稲わら収集が可能となった。それにより、畜産農家と耕種農家との連携が高まり、資源循環型農業の促進が図られている。今後は、生産性の向上を図るとともに、作業時間の短縮も含めた作業の効率化を図り、目標を達成したい。	目標面積には達していないが、稲わらの収集面積は年々増加しており、評価できる。今後は、耕種農家との連携をさらに深め、稲わらを確保するとともに、計画的な利用により2台のロールベラーを効率よく利用することが必要である。

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(都道府県名:栃木県)

市町村名	事業実施主体名	作物等区分 (対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価
					計画時 (平成18年)	1年後 (平成19年)	2年後 (平成20年)	3年後 (平成21年)	目標値 (平成21年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
藤岡町	大前飼料生産組合	飼料作物 (イタリアンライグラス、デントコーン)	生産性向上	【飼料増産】 受益面積を1%以上増加	イタリアン 17.0ha デントコーン 10.5ha 計 27.5ha	17.9ha	17.86ha	17.86ha	15.5ha	117.6%	飼料作付面積が12.8% (3.53ha)増加した。 イタリアン 5.0% (0.86ha)増加。 デントコーン 25.4% (2.67ha)増加。	細断型ロールベアラー1台 オートラップマシン1台 ベールグリップ1台 マニアスプレッダ1台	7,524,090	3,478,000	0	750,000	3,296,090	H20.1.17	細断型ロールベアラーの導入により、事業実施前に比べて作業が省力化し、改善点であった粗飼料の品質が向上している。 イタリアン、デントコーンともに作付面積が増加したが、デントコーンは目標面積には達していない。計画的な作付により、デントコーン生産の拡大を図っていきたい。	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる。
矢板市	乙畑堆肥利用組合	飼料作物 (稲わら)	生産性向上	【耕種作物活用型飼料増産】 受益面積を1%以上増加	30ha	23.0ha	40.0ha	40.0ha	60.0ha	33.3%	稲わら収集面積が10.0ha (33.3%)増加した	ロールベアラー1台	4,200,000	1,218,000	0	0	2,982,000	H20.2.25	事業実施地区は、稲作を中心とした水田地帯であるが、これまで作業効率が悪いため稲わらの利用率が低く、良質な稲わらが収穫できなかった。 本事業の実施により、効率的に短期間で収集できるようになったが、稲わらの収集面積は40haで目標には達しなかった。今後は、耕種農家との連携を深め、目標達成を図りたい。	稲わらの収集面積は伸び悩んでいるのが現状である。今後は、飼料用米の作付が拡大している地域であることを活かし、耕種農家を含めた話し合いの場を設け、そのわら利用について取組を進める必要がある。
塩谷町	ふあまずI・M・O	飼料作物 (稲わら)	生産性向上	【飼料増産】 飼料作付面積を1%以上増加	46.9ha	46.9ha	55.53ha	55.52ha	55.0ha	106.4%	稲わら収集面積が8.62ha (18.3%)増加した	ロールベアラー1台 ロータリーレーキ1台 マニアスプレッダ1台	4,756,500	1,365,000	0	0	3,391,500	H20.1.31	副産物として産出される稲わらの利用は、個々での作業から労働力の制約もあり効率は上がっていなかった。組合の組織、本事業による機械の整備や共同作業体系の確立により効率的な稲わら収集・畜産農家への供給が可能となった。	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる。